四つの形（事実／選択肢／影響／判断してほしい点）

本の記入例：図15-4（第15章）、表9-3（第9章）

対象 どの商品の、どのセグメントか	**書いた日／書いた人**
根拠にしたもの 記録、聞き取り、観察。だれに、いつ	**まだ確かめていないこと** 聞けなかった相手も

出す相手

いつまでに

事実 数えたこと、聞いたこと。仮説や施策を混ぜない			
選択肢 「何もしない」の列を必ず置く。お金と日数も	**何もしない**	**案（　　）**	**案（　　）**
影響 一番足りないもの（お金・日数・協力者の時間）で数える			
判断してほしい点 何を、どこまで決めてほしいか	**見直す条件** いつ、何を見て		

相手の書きこみ

① 価格や予算を決められない立場でも、この四つがそろえば会議に出せる。決裁が要る変更でも、担当者の仕事は終わらない。

② 施策ごとに、自分で進められるのか、誰と合わせるのか、誰の決裁が要るのかを書く。

③ 「やらない」と決めたものには、いつまでかを入れる。

分からない欄は、空けたままに。想像で書いたことには、印をつける。

 © 株式会社スパークル